

市民社会スペース NGO アクションネットワーク(NANCiS)
2025年度活動計画

(2025年5月28日世話人会議決)

1. NANCiS 活動目標

本会は、国内外において、市民社会の自由な言論・活動のための社会空間である「市民社会スペース」の自由が保障され、市民社会の自由で創造的かつ積極的な言論・活動が可能となるよう、(1)市民社会スペースの推進とアドボカシー、(2)市民社会スペースに関わる学習・情報交換と NGO の救援、(3)国際協力 NGO と他分野の市民社会組織とのコーディネーション、により市民社会スペースの擁護と拡充に取り組むことを通じて、地球規模課題の解決に寄与し、人権が実質化され民主的な社会の構築に貢献することを目的とする。(規約第2条)

2. 2025年度活動方針

国内外での権威主義の台頭や民主主義の退潮、各国間の軍事的緊張の拡大や社会の軍事化に警戒し、一層の市民社会スペースの擁護と拡充に努めるとともに、そのために必要な組織・運営基盤の強化に取り組む。

3. 2025年度活動計画

活動項目	活動内容	担当	協働者・団体
(1) 市民社会スペースへの理解促進と拡充のための活動	(1-a) 市民社会スペースに関する日常的な情報提供の実施 ※メーリングリスト、ウェブサイト、SNS 等により実施する。	全員	構成団体 賛同団体
	(1-b)「アニュアルミーティング」(7月) ※賛同団体・構成団体を対象 ※一般団体の総会・会員交流会に代わるものとして実施。 ※海外の事例を紹介	全員	各分野の NGO/NPO 両弁護士 等
	(1-c)「年次イベント(=公開プログラム)」(下半期を想定) ※市民社会スペースの現状と課題の周知・理解を広げるための実施	全員	
(2) 市民社会スペースに関する法制度や政策、社会状況や課題に対する監視、提言、抗議活動	(2-a) 国内外の市民社会スペースの状況に関するモニター及び声明等の発出 [重点対象](国内)特定秘密保護法、共謀罪法、土地規制法、経済安保法、市民社会への圧迫・萎縮(海外)権威主義の台頭や民主主義の破壊、軍事的緊張の拡大と社会の軍事化、市民社会への圧迫・弾圧	加藤堀内 全員	構成団体 賛同団体 各分野の NGO/NPO
	(2-b) 国連自由権規約委員会対日審査への継続対応 NGO 共同報告書や日本政府への勧告を活用した国内向けアドボカシーの実施	谷山 小泉 加藤	NCFOJ
(3) NGO の対応力強化のための情報収集、情報共有、学習活動	(3-a) 秘密保護法対策弁護士・共謀罪対策弁護士との共同による「弾圧研究会」の実施 両弁護士や構成団体・賛同団体等の NGO の参加のもとに、市民社会スペースに関わる「弾圧」や「圧迫」の事案を検討しつつ、今後の具体的な対応を想定する。	谷山 小俣 加藤	両弁護士 構成団体 賛同団体

(4) NGO が被害を被った際の対応活動	(4-a)「緊急時初動対応リスト」を踏まえた、緊急時の対応体制の整備	谷山	両弁護士構成団体
(5) 他分野の市民社会組織との連携活動	(5-a) 各活動内容での他分野の市民社会組織との連携強化 〔重点活動〕(1-c) (2-a) (3-a) など	各活動担当者	各活動の協働者・団体
	(5-b) CIVICUS および VUKA!、CoD 等を通じた、世界規模での市民社会スペース擁護に向けた国際連携	堀内 JANIC	CIVICUS TAP Network
(6) 組織・運営基盤の強化	(6-a) NANCiS の活動の持続化・円滑化のための資金及び各種リソース確保に向けた検討	加藤 全員	
	(6-b) NANCiS の発信力・広報力向上に向けたプレスリリース強化のための検討	全員	
	(6-c) NANCiS の活動の持続化・円滑化のための運営システムの構築 ※事務所体制、会計体制、人事体制の早期確立を図る。	全員	

以 上